

楓沢にある分かりやすいコケ4点を探してルーペで見よう！



楓沢のコケは廻廊内部以外も含めると100種以上あると思われませんが、実際に目視で確認出来るコケは20種程度です。その中でも楓沢の廻廊内で代表的な4種の特徴を書いておきますので、楓沢を歩くときにチョットだけ観察してみてください。下の写真①～④のコケです。

出来れば、ルーペを持って行くと別の世界が開けます。

① **エビゴケ**：壁の大多数に張り付いているのがエビゴケです。茎をエビの体に見立て、そこから白く伸びているのがエビの触角に見えるところから和名が付いています。

② **ジャゴケ**：これは名前の通りジャはへびの蛇です。

表面を観察すると蛇の皮のように見えます。

③ **エゾチョウチンゴケ**：写真では分かりづらいですが、苔の色が濃い緑で見つけやすく、葉の集まった真ん中から角のようなものがツンツンと沢山出ているのですぐに分かります。

④ **スジチョウチンゴケ**は地味ですが、小さな丸い葉が四方に4枚あるのを探すとよいでしょう。時季によっては、その中心から細い枝（蒴柄）が伸びて、その先に胞子の入るカプセル（蒴：さく）がつきます。その形が提灯をぶら下げているようにも見えるところから和名が付いたのではと思います。



① エビゴケ



② ジャゴケ



② エゾチョウチンゴケ



④ スジチョウチンゴケ